

統計作成 ステージ	課題	個別統計における対応				I	II	III	
		法人企業 統計	海面漁業 生産統計	毎月勤労 統計	家計統計	統計技術	情報公開	体制整備	
標本抽出	◆適切な母集団情報の 適時利用に係る問題	○今後、使用する母集団 情報と事業所母集団DB を突合・検証し、経済セ ンサスの母集団情報を 利用可能な状態にする。		○今後、母集団情報を2 ～3年ごとに更新され る経済センサスから、 毎年更新される事業所 母集団DBに切り替え		母集団情報の検 証と改善、最新 情報の利用推進	利用者に対し詳細な 情報の提供	統計改善のため の体制の整備	
	◆標本替え時に生じる 問題 (断層の発生)	●H21年にローテーション サンプリングを導入。 ○今後、断層調整値の参考提供を検討。 ○サンプル替えの一層の分割・逐次化 はH21年に導入したローテーシ ョンサンプリングの効果及び断層調整 値の検討を踏まえて検討		○今後、規模30人以上 の事業所調査でロー テーションサンプリ ングを導入	●ローテーション サンプリング 実施	統計技術的改善 〔ローテーションサン プリングの導入 ・断層調整データの 提供〕			
	◆サンプルサイズの不足	○統計精度向上と費用対効果の問題 ととらえ、今後、予算・人員面の 問題を踏まえ、標本数拡大に向け 慎重ながら前向きに検討				〔統計リソース (人員、予算) の確保〕			
	◆回収率の低下 ・回収サンプルの偏り の発生 ・記入者負担の軽減	●督促の民間委託の導入 ●オンライン調査の導入 ○上席者による督促など 回収の工夫		○回収率維持・向上策 の検討・実施	○今後、電子化等 の推進	データの検証と分析			調査方法、情報 収集方法の改善 〔回収率向上の取組 ・オンライン化の推進 ・行政記録情報の利用〕
	◆非回答項目の発生 ◆異常値の発生		●行政記録情報の 活用	○新しい情報収集 方法の研究・検討					
調査	◆補正に係る問題	【再掲】 ○今後、断層調整値の参考 提供を検討		●世帯人員別分布を用い て推計 ○今後、世帯主の年齢 分布を用いた推定結果 の参考公表を検討 ○今後、他の世帯属性を 用いた推定方法を研究		補正と 補正データの提供			
	◆欠測値への対応	○今後、補完の方法について 検討				欠測値補完、 異常値対応 の研究・検討			
	◆異常値への対応	●システムでチェックした上 で個別に審査し、処理方法 を決定							
集計・ 推計									

(注) ●：現在の状況
○：今後の取組